IT部門・SEのための物流の業務知識実践講座【会場】（4126262）

本セミナーでは、物流・ロジスティクス業務を主軸に、調達・在庫・販売との関係を整理しながら、業務全体の流れを俯瞰します。物流が企業活動全体の中で果たす役割を明確にしたうえで、輸配送・保管/在庫管理・荷役・流通加工という現場業務に絞り込み、実務目線で深く掘り下げます。

開催日時	2027年2月17日(水) 10:00-17:00会場
JUAS研修分類	ビジネススキル(業種・業務知識)
カテゴリー	業務遂行スキル 専門スキル
講師	北山剛 氏 （合同会社Best of Zoo　代表社員 ） 新卒で大手物流企業に入社し12年にわたり国際輸送・倉庫設立等の現場・営業実務に従事。 その後、コンサルティングファームにて大手流通業・商社の業務設計や中期経営計画策定に携わり、物流テックベンチャーでは執行役員CLO（Chief Logistics Officer）として倉庫プラットフォーム事業の立上げを牽引。 続く物流ロボットベンチャーではAGV導入の現場インテグレーションを、EC物流3PL事業者ではIT統括・倉庫改善・社長代行・営業責任者を歴任し、現場実務からデジタル変革までを一気通貫で推進してきた。 2021年に物流コンサル企業（合同会社Best of Zoo）を設立し、現在は一部上場企業の物流戦略策定、ベンチャー企業の海外進出支援、営業倉庫の登録・運営支援、WMS・TMS導入支援などを幅広く手掛ける。 インド駐在1年、中国・シンガポールでの海外倉庫立上げ等のグローバル実務経験も持つ。日本物流学会会員、JILS（日本ロジスティクスシステム協会）会員。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア２F）
対象	・IT部門・SEで、物流・ロジスティクス業務の全体像を整理したい方 ・新任・異動などで、これから物流業務に関わる方 ・WMS・TMSなど物流システムの導入・運用に関わり、業務理解を整理したい方 ・要件定義や利用者対応に活かせる、実務につながる理解を身につけたい方 ※専門知識や実務経験は不要。初学者から経験者まで安心して受講いただけます 初級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
会場のみ（オンラインなし）
■テキスト
当日配布
■開催日までの課題事項
特になし

IT部門・SEのための物流の業務知識実践講座
－全体像から業務内容・流れ、必要データ、管理ポイント、死角を総合的に解説

物流・ロジスティクスを、調達から生産・販売に至るモノの流れの一部として全体で捉えられず、輸配送や倉庫管理など部分的な理解のまま対応しているIT部門・SEは少なくありません。

受講者はIT側の理解は深い一方で、業務側（現場オペレーション）の理解が乏しいというのが実態です。
本セミナーは、その業務知識のギャップを埋めることを主眼に設計しています。

本セミナーでは、物流・ロジスティクス業務を主軸に、調達・在庫・販売との関係を整理しながら、業務全体の流れを俯瞰します。
物流が企業活動全体の中で果たす役割を明確にしたうえで、輸配送・保管/在庫管理・荷役・流通加工という現場業務に絞り込み、
実務目線で深く掘り下げます。各業務がどのタイミングで記録され、WMS・TMSなど物流情報システムとどうつながるかを確認し、業務の流れを具体的に把握します。

◆主な内容
第１部　物流・ロジスティクスの全体像（SCMの中の位置づけ）
(1) 業務知識がなぜ必要か（利用者との会話、設計書作成時の必須知識）
(2) 企業活動全体を俯瞰する：モノの流れ(調達/生産/物流/販売)とカネの流れ(物流コストと損益)
(3) 物流に関わる内部統制・関連法規（倉庫業法、貨物自動車運送事業法 等）の概要
(4) 物流・ロジスティクスの目的と範囲、基本用語の確認（物流/ロジスティクス/SCM/3PL 等）
(5) その他、物流トピックス
（包装／物流コスト・サービスレベル（KPI）／最近の動向（3PL・国際物流・EC物流等）／社会的役割（CSR・SDGs））

第２部　輸配送
(1) 輸配送業務の流れ（計画・手配・実行・追跡）
(2) 輸送モード（陸・海・空）と運賃体系、配車計画・共同配送
(3) 落とし穴・留意点
(4) 実務事例（講師実務より1～2件）：海外工場設備輸出入の輸送コーディネート、特殊輸送（大型クレーン・バルク船等）対応 等

第３部　保管・在庫管理
(1) 倉庫の機能とレイアウト、マスターのデータ構成（倉庫マスタ、ロケーションマスタ、商品マスタ 等）(2) 在庫評価・棚卸計算（計算例）
(3) ロット管理とトレーサビリティ（具体例）
(4) 実務事例（講師実務より1～2件）：海外倉庫立上げ（上海保税区、シンガポール特区）、3PL事業者でのレイアウト改善・収益性改善等

第４部　荷役
(1) 入出庫業務の流れ（入荷検品、ピッキング、梱包、出荷確認）
(2) マテハン機器・自動化（AGV、ロボット 等）
(3) 落とし穴・留意点（属人化、ブラックボックス化）
(4) 実務事例（講師実務より1～2件）：AGV導入における現場インテグレーション、3PL事業者での勤務ルール・自動機器導入による効率化等

第５部　流通加工・情報システム
(1) 流通加工の種類と役割（検品、値札付け、セット組 等）
(2) WMS・TMSなど物流情報システムとの連携、業務とシステムの接続点
(3) 落とし穴・留意点（開発者視点と実務側の認識のギャップ）
(4) 実務事例（講師実務より1～2件）：WMS要件定義・選定支援、業務とシステムの橋渡し経験 等

第６部　ディスカッション・質疑応答
・各部の内容を踏まえ、受講者の自社課題に関する質疑応答
・実務に持ち帰れる形での疑問点の解消